

令和6年度 美術科 第3学年 年間指導計画

学期	月	時数	学習内容	評価規準			ICTの活用
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1学期	4月	1	・オリエンテーション				電子黒板
	4月 5月 6月	6	・自画像 (マイフォトグラフ) ・修学旅行の見どころ	明度分割・色面分割の自画像を再確認する。グレースケールを基本にパブリカ・女優とスポーツ選手の顔写真でシミュレーション(練習)する。 修学旅行を前に歴史的建造物の基礎知識を身につける。	自分の顔のモノクロ画像を準備し、明度を5分割にした色調で明度の低い面からポスターカラーで着色する。 修学旅行で自分の目で確かめる。	友達の作品の途中経過を見たり、完成作品を鑑賞し合い、表現の多様性を知る。ワークシートに記す。 見どころのポイントから「古代美術新聞」を作成する。	電子黒板 タブレット
	6月	2	・レオナルド・ダ・ヴィンチの名画鑑賞	レオナルド・ダ・ヴィンチの生きた時代背景、生き様を学ぶ。	代表作「モナリザ」と「最後の晩餐」の技法とそこに秘められたメッセージを考える。	班ごとに仮説を立て、発表し合い、全員で検証する。	FCR
	7月	1	・ポスター(有志)	課題とするポスターの題材を選び、原画を描き、レイアウトや配色を考え、試行錯誤する。	応募の条件を遵守し、四つ切画用紙に下描き、着色(ポスターカラー)を施す。アドバイスを受け、細部や標語にもこだわり完成させる。	夏季補習教室に参加し、ポスターコンクールに応募する。	タブレット
2学期	9月 10月 11月	12	・アートグラス時計 (スクラッチ法)	制作の手順と条件、道具やクオーツの装着について理解する。デザインのテーマは時計として、卒業記念記念品として、オリジナル版としてふさわしいものを考えるようにする。 参考作品を見てできるだけ具体的な原画を考える。	①原画作成→ ②写し→ ③スクラッチ→ ④着色→ ⑤針とクオーツの装着→ ⑥フレーム の工程を一つ一ついいねいに積み上げていく。特に着色時の絵の具の水の量、黒が基調なので明度を明るくすること、時計・分針・秒針の取り付け位置に気を付けさせる。	学習発表会の展示作品から友達の作品を鑑賞し、感想をまとめ、相互理解に努める。 自分の作品の制作も振り返り、卒業後の生活に彩を与えられるようにする。	タブレット
	12月	3	・線遠近法 (透視図法・投影法)	参考作品を元に線遠近法の原理と様々な種類(透視図法と投影図法)について学習する。	1点・2点・3点透視図法と等角投影図法、斜投影図法(30°・45°)を利用して実際に正確に作図練習する。	定規の使い方や丁寧な線引きを確認し、そのワークシートを保管、ノートに添付する。何度も作図練習し、テスト勉強に活かす。	タブレット
3学期	1月 2月	7	・ペーパーウエイト (サンドブラスト法)	サンドブラスト法の意味と制作の流れを熟知する。白と透明のバランスを元に複雑な圖案を考える。	空気を入れないようにマスキングシートを貼り、トレースした圖案を裏返し、カーボン紙で写し、凹ます部分(白)をカッターで切り取る。 →業者引き渡し	制作を振り返り、友達の作品を鑑賞し、感想をまとめる。 学習発表会に出品する。	電子黒板 書架カメラ
	3月	3	・西洋の美術用語	時代の流れ、日本美術との違いを確認する。電子黒板や動画でできるだけ大きく、また細部の表現を詳しく確認する。	技法の効果や作品の意味をノートに図示しながらまとめ、古代に思いを馳せ、美術史の流れを理解する。	班ごとに話し合い、作品の情報や見る側の感想を共有する。友達の意見も聞き、今後の生活に生かす。	タブレット

評価計画

【各観点ごとの評価方法】

評価資料	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・授業観察 ・ポスター ・資料収集 ・定期考査	・授業観察 ・制作過程(作品) ・完成作品 ・ワークシート(振り返り)	・授業観察 ・ノート ・提出物 ・アイデアスケッチ(原画)